

## 令和元年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

|      |  |      |                       |
|------|--|------|-----------------------|
| 施設名  | 新潟市ふれあい健康センター（愛称:アクアパークにいがた）   |      |                       |
| 管理者名 | 福田道路・オーエンスグループ   | 指定期間 | 平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 |
| 担当課  | 環境部循環社会推進課   |      |                       |
| 所在地  | 新潟市西区笠木3629番地1   |      |                       |
| 根拠法令 |  |      |                       |
| 設置条例 | 新潟市ふれあい健康センター条例  |      |                       |
| 施設概要 | 敷地面積: 17,065.43㎡ 鉄筋コンクリート造2階建<br>延床面積: 3,823.92㎡<br>建築面積: 2,605.34㎡<br>主な施設内容<br>1階: アクアガーデン(流水プール, 幼児用プール, 気泡・噴流プール, たこつぼ湯, 座湯, 寝湯, ミストサウナ, 屋外ジャグジー), フロント, ロビー<br>2階: 浴室(人工温泉風呂, ドライサウナ, 水風呂, 更衣室), レストラン, カフェラウンジ, ロビーラウンジ, エクササイズスタジオ, 休憩室, マッサージ室, キッズルーム |      |                       |

| 施 設 設 置 目 的   |
|---|
| 市民の健康の増進に寄与するとともに、リサイクル意識の向上に資することを目的として、新潟市ふれあい健康センターを設置する。  |
| 管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 , 方 針 等   |
| 設置目的を達成し、地域の憩いの場として、又は気軽なレクリエーション施設として活用されることを目指して次の点に留意して事業を行う。  |
| ①市民が広く利用する、公の施設であるという性格を十分認識する。<br>②利用者にとって快適な施設の環境づくりを目指す。<br>③より多くの人に利用してもらえるよう利用促進に努める。<br>④日常点検及び定期点検により適切に保守・整備を行い、常に施設を最良の状態に保つ。<br>⑤利用者の安全を最優先に考える。<br>⑥効率的な運営を行い、経費の節減に努める。 |

| 視 点 | 評価項目            | 評価指標   | 実績  | 評価 | 評価コメント                                      |
|-----|-----------------|--|---|----|---|
| 市 民 | 市民の健康増進への寄与     | 健康教室参加人数年間8,100人以上   | 健康教室参加人数<br>=6,842人(達成率84.5%)                     | C  | PR方法の改善および教室<br>の内容の検討を。                    |
|     | 夏季など混雑時の満足度向上   | 夏季の利用者アンケート調査で「やや満足」以上が95%以上                               | 9月中旬～下旬実施<br>利用者満足度調査「やや満足」以上92.5%                | C  | 満足度を高めるよう努めて<br>いただきたい。                     |
|     | 目標利用者数の達成       | 年間利用者数268,000人以上   | 年間利用者数=268,783人<br>達成率100.3%                      | A  | 新型コロナウイルスの影響<br>もある中で利用者増は評価<br>できる。        |
|     | 閑散期の利用者数増加      | 10～3月の利用者数117,000人以上                                       | 10～3月利用者数<br>112,052人(達成率95.8%)                   | C  | 3月の利用者減(△7,205人)<br>が影響した。                  |
| 財 務 | 事業収支の健全性        | 収支の黒字化   | 赤字  | C  | 収支状況は改善してきてい<br>るが、さらなる利用者増に向<br>け取り組みの強化を。 |
|     | 安定収益の確保         | レストランの利用者数37,800人以上  | 年間レストラン利用者数<br>=30,440人(達成率80.5%)                 | C  | 収益状況は改善しているが<br>利用者が減少しているの<br>で、集客努力を。     |
|     | 飲食部門の経費削減       | レストランの仕入れ経費率39%以下  | レストラン仕入率<br>=38.2%                                | B  |   |
| 業 務 | リサイクル意識の向上      | 市民のリサイクル意識の向上に資する事業を新たに1つ実施する。                             | ・はるかのみまわり種まき<br>(段ボールコンポスト肥料を使用)<br>・ペットボトルキャップ回収 | A  | 引き続き様々な啓発活動を行<br>っていただきたい。                  |
|     | 事故発生時の対応の適切さ    | 救急救命全体訓練年2回以上、プール監視員救助訓練年2回、短時間訓練毎日実施、避難訓練年2回実施し、事故発生に備える。 | 全項目実施   | B  |   |
|     | 施設の清潔感の維持       | 利用者満足度調査の各施設清潔度「やや満足」以上がアクアガーデン・浴室・サウナで85%以上、更衣室で80%以上     | アクアガーデン 78.0%<br>浴室・サウナ 86.4%<br>更衣室 75.3%        | C  | 更衣室の清潔度は原因の<br>分析と改善を。                      |
|     | 業務仕様書等に定める事項の遵守 | その他業務仕様書等に定める事項の遵守   | 水質異常の発生無し<br>救急搬送件数;<br>H30年4件→R1年1件              | B  |   |
| 人 材 | 適切な人員配置と迅速な対応   | 事業計画書及びマニュアルに沿った適正人員配置の実施                                  | マニュアルに沿った適正人員の配置を実践                               | B  |   |
|     | 職員の業務理解度と能力向上   | 指定管理者研修、類似施設見学、OJTの実施                                      | 指定管理者研修・類似施設<br>見学・OJT 全て実施                       | B  |   |
|     | 人材育成と職員の満足度向上   | 定期昇給の実施、関連資格の取得  | 定期昇給実施<br>監視員の救急法救急員資<br>格取得                      | B  |   |

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている  
B:要求水準(評価指標)が達成されている  
C:要求水準(評価指標)が達成されていない  
※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。  
(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんのでご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

総括;  
2月後半ごろから、新型コロナウイルスの影響を受け、年間利用者数27万人を目前に失速してしまいました。  
項目別では、利用者アンケートの満足度が昨年比3.7ポイント低下し、来年度に課題を残す結果となりました。  
また、例年、冬季期間を中心に救急搬送事例が3件程発生していましたが、今期は、ヒートショック防止の啓発を館内に掲示し抑制に努めた結果、救急搬送が1件でした。来期以降も、安心安全を最優先し、安心して当館を利用していただけるよう努力してまいります。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

昨年度は大きな事故もなく、安全なプール管理体制ができています。  
2月後半から新型コロナウイルスの影響を受け3月の利用者数は失速したが、年間利用者数は過去最高となった。  
新型コロナウイルスの影響は続くため、これまでの営業、管理体制と変わる部分もあるが、安全・安心を最優先した施設運営を行っていただきたい。